コンサルタント		研修コース群	コンサルティング基礎	ト基礎	ルティングメ	ッン プサ ル	ケーショント	- ション	グ手法	ョン動向ンダストリアプリケ	最新ビジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動			ロジ基本								ロジ上級	ソナレティングメ				
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名	コンサルティング基礎	ト基礎プロジェクトマネジメン	サ	プサ ル タ	ショント	ヨントのネゴ	法テムのモニタ	ョン動向ンダストリアプリケ	ジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動	B⊺メソドロジの基本	ソドロジの基本	パッケー ジ適用の基本	識アプリケー ション製品知	固有パッケー ジ製品知識	事業戦略	組織戦略	ビジネスデザイン	! 戦略	. □ 正運用	! Tマネジメント	! ⊤ネットワー ク技術	⊥⊤セキュリティ技術	ぉ! けジ	トにおける組織改ッケー ジ適用プロ	ラクトにおける 三Tインフパッケー ジ適用プロジェ
ITソリューション提案		コンサルティング技術の活用 ・仮説設定 ・データ収集 ・インタビューの実施 ・セッションの運営 ・データ分析 ・検証 ・コミュニケーションとネゴシエーションの実施 ・おき事のため																											
ITソリューション提案		・報告書の作成 ソリューションの選定 ・ソリューション評価 ・顧客のソリューション開入と評価基準の明確化 ・提案ソリューションの選定																											
ITソリューション提案		ソリューションの提案 ・提案内容の作成 ・提集内容の検討 ・ソリューションの設計 ・提条書の作成 ・適合性の評価 ・購入意志の確認 ・後続活動の定義																											
ITソリューション提案		チーム編成 ・セールスチームの編成 ・活動計画の立案																											
ITソリューション提案		最新アブリケーション動向 ・最新インダストリアブリケーション動向の把握 ・最新アブリケーションバッケージ動向の把握 インダストリ知識																											
インダストリ		・インダストリ共通アブリケーションに関する知識の活用・インダストリ固有アブリケーションに関する知識の活用・インダストリ日ジネス動向、技術動向、競合状況の把握・インダストリ用語、関連法規の把握と活用・インダストリ別事業環境の把握と活用・インダストリ別とジネス帽行の把握と活用・インダストリ固有業務内容の把握と活用																											
業務分析		情報化と経営・・情報戦略・・企業会計・経営工学・・エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用・・関連法規の理解と遵守																											
コストマネジメント		コストコントロール ・コスト変更管理の実施 ・進捗状況評価基準の把握、実践 ・EVM(Earned value management)の活用と実践 ・コストコントロールツールの活用と実践																											
コストマネジメント		コスト種算 ・ボトムアップコスト見種の実施 ・ボトムアップコスト見種の実施 ・見種ツールの活用と実践 ・コスト見様方法論の活用と実践																											
コストマネジメント		資源計画 ・資源計画の検討と策定 ・代替案の定義																											
コストマネジメント		予算設定 ・予算設定ツールと技術の活用と実践 ・コストベースラインの作成 コミュニケーション (2Way)																										\perp	
コミュニケーション		・対話およびインタビューの実施 ・意思疎通 ・コミュニケーション手法の活用と実践 ・効果的な話し方、聞き方の実践																											
コミュニケーション		コミュニケーション(情報の処理) ・状況対応能力の育成、実践 ・状況理解力の活用、実践 ・ミーティング連営技術の活用、実践 「ミーティング連営技術の活用、実践 「ミニティンク連合技術の活用、実践																											
コミュニケーション		・ブレゼンテーション技術の活用と実践 ・公式および非公式文書の作成 ・文書表現および表現力の活用と実践 ・メディア選択																											
コミュニケーションマネジメント		- 説得技法の活用と実践 コミュケーション計画 ・コミュニケーション要件の把握 ・コミュニケーション技術の活用と実践																											
コミュニケーションマネジメント		プロジェクト完了手続 ・プロジェクト実績報告 ・プロジェクト実績報告 ・プロジェクト投告書の作成 ・プロジェクトプレゼンテーションの実施																											
コミュニケーションマネジメント		実績報告 · 進捗検証 · 予実分析 · 傾向分 Value分析																											
コミュニケーションマネジメント		情報配布 ・コミュニケーションスキルの活用と実践 ・情報配布方法論の活用と実践																											
コンサルティングの実施		コンサルティング技術の活用 ・仮説設定 ・データ収集 ・インタビューの実施 ・セッションの運営 ・データ分析 ・検証 ・コミュニケーションとネゴシエーションの実施 ・報告書の作成																											
コンサルティングの実施		**な日本の下が、プロジャトの実施 ・一般的な管理スキルの活用、実践 ・造捗管理 ・リスク管理 ・リスク管理 ・スコープマネジメント ・品質管理 ・パコストを選 ・パコストなよびITパリューマネジメント																											
コンサルティングの実施		・																										#	
コンサルティングの実施		・インダストリ知識の活用 ・業務改善関連知識の活用 ・専門知識と経験の活用 ・経営戦略と事業戦略に関する見識と分析 ・事業環境に関する見識と分析 ・事業間向の把握と分析 知的資産の管理と活用																											
コンサルティングの実施		ス川り真座の管理で活用 ・知的資産のデータベース化(付加価値、構造化、共有化) ・知的資産の活用 ・知的資産の維持と管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデル特許																											
コンサルティングメソドロジの 活用		ロンチルモデル特部 コンサルティングメソドロジの選択と活用 ・コンサルティングメソドロジの出較と分析、コンサルティング メソドロジの選定と適用 ・プロセスの定義と実践 ・成果物の定義と作成 ・コンサルティング技術の適用 分析ツールとモデルの理解と活用																											
コンサルティングメソドロジの 活用		・事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル ・プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル ・経験カーブ ・3C分析 ・3C分析 ・7Sモデル ・マイケル・ボーターのSForcesモデル ・パリューチェーン分析 ・その他																											
情報システムの評価		ITシステム評価 ・システム機能評価 ・システム性能評価 ・エンドユーザー評価	[_																								Ī		
情報システムの評価		・エントユーザー評価 経営評価 ・バランストスコアカード手法の活用と実践 ・投資対効果の評価																											
スコープマネジメント		スコープ計画 ・スコープ記述書の策定 ・スコープマネジメント計画書の策定																											
スコープマネジメント		スコープ検証 スコープ定義 ・WBSの作成 ・スコープ記述書更新版の策定																										\dashv	

1/4

コンサルタント		研修コース群	コンサルティング基礎	ト基礎プロジェクトマネジメン	サルティングメソ	シップ ルタントのリータ	ケー ション	ションショントのネコ	/ サレフィ・つスゴグ手法 おシステムのモニタ	ョン動向ンタストリアフリケ	ブストリアプリービジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動			ロジ基本コンサルティングメソド								ロジ上級	/ ナ ト イ ノ ブ よ				
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名	コンサルティング基礎	ト基礎プロジェクトマネジメン	ロジロンサルティングメソ	シップルタントのリーダ	- ション - リーミーショントのコミ	ション カリカーションサルタントのネコ	グ手法がよるの子	ョン動向ンタストリアフリケ	ブストリアプリビジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動	BTメソドロジの基本	ソドロジの基本	パッケー ジ適用の基本	識 アプリケー ション製品知	製	事業戦略	組織戦略	ビジネスデザイン	戦略	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	- ⊺マネジメント	□ Tネットワーク技術	⊥⊤セキュリティ技術	スクトにおける業務プロセクトにおける業務プロショクトにおける組織改革	ッケー ジ適用プロジ	クトにおける ! Tインフパッケー ジ適用プロジェ
スコープマネジメント		スコーブ変更管理 ・スコーブ変更 ・ベースライン文書の改訂																											
スコープマネジメント		プロジェクト開始 ・プロジェクト憲章の策定 ・プロジェクトマネジャの選定と任命 ・制約条件、前提条件の把握																											
タイムマネジメント		「制設条件、即提条件の把握 スケジュール関発と管理 ・数学的分析 (Critical Path Method、PERT等) ・所要時間の短縮 ・プミュレーションの実施 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・プロジェクトスケジュールの作成 ・スケジュールマネジメント計画書の作成 ・スケジュール変更管理 作業順序設定																											
タイムマネジメント		- PDM(Precedence diagramming method) - ADM(Arrow diagramming method) - Conditional diagramming method - ブロジェクトネットワーク図の作成 - 作業項目リストの作成																											
タイムマネジメント		作業所要時間見積 ・所要時間見積 ・作業項目リストの作成																											
タイムマネジメント		作業定義 ・作業の細分化、詳細化 ・作業項目リストの作成 ・WBS更新版の作成																											
知的資産管理(Knowledge Management)活用		知的資産の管理と活用 ・知的資産のデータベース化(付加価値、構造化、共有化) ・知的資産の活用 ・知的資産の活用 ・知的資産の維持と管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデル特許 最新T市場動向																											
テクノロジ		取新! 「印場到的」 ・国内外の! 市場規模と動向の把握 ・アブリケーションに関わる技術動向の把握 ・ビジネス特許に関わる技術動向の把握 ・次世代のe ビジネスとその発展の把握 最新技術動向																									_		
テクノロジ		・最新ハードウェア技術動向の把握 ・最新ミトルウェア技術動向の把握 ・最新ブラットフォーム技術動向の把握 ・最新ガーターの大技術動向の把握 ・最新データベース技術動向の把握 ・最新ビキュリティ技術動向の把握 ・最新システム管理技術動向の把握 ・最新システム管理技術動向の把握																											
ネゴシエーション		- 交渉プロセスの把握と実践 ・効果的な交渉技法の活用と実践 ・信頼関係の確立 ・目標の設定 ・共通利益 ・論理的思考の実践 ・問題解決手法の活用と実践																											
リーダシップ		リーダシップ ・リーダシップの基本や原則の把握と実践 ・チームワークとコミュニケーションの実践 ・プロジェクト目標の設定 ・プロジェクトの推進 ・プロジェクトの実行 ・プロジェクト等 ・プロジェクトチームメンバの連携																											
リスクマネジメント		ンコンナート ムアンバの動機付けと達成感の提供 リスクマネジメント計画策定 リスク監視とリスクコントロール																									\pm	\pm	_
リスクマネジメント		・プロジェクトリスク対応監査 ・定期的なプロジェクトリスク検証 ・Earned Value分析 リスク識別																										\perp	
リスクマネジメント		・資料分析 ・情報収集技術(ブレインストーミング、インタビュー、SWOT 分析)の活用と実践 ・仮説分析 ・ダイアログ技術の活用と実践 リスク対応計画																											
リスクマネジメント		· 許容 · 印题 · 移転 · 軽愛容																											
リスクマネジメント		定性的リスタ分析 ・リスク発生頻度と損害の大きさによる分析 ・リスク発生頻度と損害の大きさの評価マトリックスによる分析 析																											
リスクマネジメント		定量的リスク分析 ・情報収集技術(インタビュー)の活用と実践 ・重大性分析 ・デシジョンツリ分析 ・シミュレーションの実施																											
組織マネジメント		チーム体制化 ・チーム構成作業の実施 ・一般的な管理業務の実施 ・適材配置の実践																											
組織マネジメント		- チーム育成 プロジェクト組織計画 - 人材業務の実践 - 組織論の実践 要責調達																										#	
組織マネジメント		- 要員計画の策定 - 採用業務の実施 - ネゴシエーション - 調達																											
調達マネジメント		引合計画と引合 ・調達文書の作成 ・評価基準の設定 ・プロボーザルの受理																											
調達マネジメント		契約管理 - 契約案務の理解 - 契約条件の確認と合意 - 契約条件の確認と合意 - 契約の締結 - 例外事項の処理 - 外注とOEM契約業務の理解 - 関連法規の理解と遵守																											
調達マネジメント		調達計画 ・内製外製の分析 ・契約形態の選択 ・調達計画書の作成																											
調達マネジメント		- 調達計画書の作成 発注先選定 プロジェクト計画の策定 - プロジェクト計画メソドロジの活用と実践							+		+																\mp	+	=
統合マネジメント		・プロジュアドロックアログルのご用 ・プロジェクト計画書の策定 プロジェクト計画の実施 ・一般的な管理スキルの活用と実践					-	-															_				\perp	+	\dashv
統合マネジメント		・一般的な管理スキルの活用と実践 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・承認プロセスの把握 ・進捗管理会議運営 ・組織の手続きの把握 総合変更管理																											
統合マネジメント		・変更管理 ・構成管理 ・プロジェクト進捗評価基準の活用と実践 ・プロジェクト計画書更新版の策定 品質コントロール																											
品質マネジメント		・監査 ・コントロールチャートの活用と実践 ・パレート図の活用と実践 ・統計サンプリングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・傾向分析																											
品質マネジメント		品質計画 ・ベネフィットコスト分析 ・ベンチマーキングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・品質に関するコスト管理																											
品質マネジメント		品質保証 ・品質計画 ・品質監査 ・ツールと技術の活用と実践						2/4																					経済産

コンサルタント		研修コース群	コンサルティング基礎	ト基礎プロジェクトマネジメン	ロジコンサルティングメソド	シップ コンサルタントのリーダ	ニケー ション	ントのネゴ	テムのモニ	ン動向 ダストリア	最新ビジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動			ロジ基本コンサルティングメソド		ロコン サルル ティ ング メソド												
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名	コンサルティング基礎	ト基礎トマネジメン	ロジーコンサルティングメソド	シップシップトのリーダ	ニケー ショント	エーション	情報システムのモ	向トリア	最新ビジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動	BTメソドロジの基本	ソドロジの基本	パッケー ジ適用の基本	識アプリケー ション製品知	固有パッケー ジ製品知識	事業戦略	組織戦略	ビジネスデザイン	単戦略	運用	- ▼マネジメント	-	- ↑セキュリティ技術	ける業務プロ	リけジ	ラ クトにおける ─ 〒インフ パッケー ジ適用プロジェ	
	IT戦略の策定	IT戦略策定 ・顧客のビジョンとゴールの把握 ・顧客のビジネス戦略の把握																												
	IT戦略の策定	<u>・顧客のシステム化戦略の策定</u> TCP/IP ネットワーク技術 ・TCP/IPの成り立ち、仕組み、構成、QoSの考え方																												
	□戦略の策定	システムブラットフォーム技術 ・オペレーティングシステム技術の活用と実践(メインフレーム、分散機(オフコン)、UNIX、WINDOWS、Linuxなど)																												
	□戦略の策定	システム 運用管理設計 ・キャパシティ管理の適用 門題管理の適用 ・変更管理の適用 ・回復管理の適用 ・回復管理の適用 ・機成管理の適用 ・構成管理の適用 ・インフラ設計 ・エンドユーザ支援設計 ・資産管理の適用 ・資産・運の適用 ・ジェンドユーザ支援設計 ・資産・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・																												
	□戦略の策定	- 問題管理 - パフォーマンス、キャパシティ管理 - 変更管理 - 変更管理 - 資源管理 - 構成管理 - 構成管理 - 連用管理 - セキュリティ管理製品の評価、選定																												
		システム管理体系 ・組織と役割の設定 ・業務7ローの策定 ・業務7ローの策定 ・業務機準の策定 ・管理体制の確立 セキュリティとブライバシ ・セキュリティダ策機密保護。改ざん防止対応、不正侵入																									<u></u>			
		コンピュータウィルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング)・ブライバシ保護・リスク管理・リスク管理・カガドラインと関連法規 セキュリティの見重し・技術情報の収集と評価・ ************************************																												
	□戦略の策定	・連用上の問題点整理と分析 ・技術上の問題点整理と分析 ・対析との問題点整理と分析 ・対策がは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対																												
	!⊺戦略の策定	・シングルサインオン技術動向の把握 ・PKI技術動向の把握 ・セキュリティアドミニストレーション技術動向の把握 ・侵入防止技術動向の把握 ・暗号化技術的把握と活用 ・電子署名技術の把握と活用 ・ファイアフォール技術の把握と活用 ・フェイアのまール技術の把握と活用																												
	戦略の策定	・耐監査性設計 ・規密性設計 ・可用性設計 ・完全性設計 ・元全性設計 ・端別と認証設計 ・PKI技術の適用 ・キットワークセキュリティ技術の適用																												
	IT戦略の策定	- その他 ニーズ& ウォンツ分析 ・ビジネス要求の確認 ・現行業務の調査と分析 ・経営要求の確認 ・現行組体制の調査と分析 ・現行相対へカラの調査と分析 ・現行インフラの調査と分析																												
		ネットワークシステムの運用と保守 ・利用者対応 ・保守または更新の方針と計画作成 ・保守または更新の方針と計画作成 ・保守または更新の実施 ・パックァップとデータ回復 ・ネットワークシステム構成管理																												
	□戦略の策定	ネットワークシステムの技術動向 ・大規模系ネットワーキング(プロードバンFISDN、光ネット ・電話用ケーブル、無線ネットワーク、基幹網)技術動向の 把握 ・高速LAN(DQDB、ギガビットイーサネット)技術動向の把 握 ・通信サービス(ギガビットイーサネット、常時接続サービ ス、地域IP網)技術動向の把握																												
	T戦略の策定	ネットワークシステムの構築とテスト ・導入作業 ・導入作業 ・ネットワークセキュリティ構築 ・ネットワーク検証ツールの活用 ・問題判別、トラブル解決手法の活用と実践 ネットワークシステムの要件定義 ・アブリケーションの要件分析 ・現行ネットワークシステムの分析																												
	IT戦略の策定	・作業範囲の確定・ネットワークシステム要件の定義 ビジネス環境分析・外部環境分析・内部環境分析・境部環境分析・競走上の位置(リーダー、チャレンジャー、フォロワー、ニッチャー)の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																												
	丁戦略の策定	・事業フィブザイグル(粤人駅、成長駅、成熟駅、衰退期)の 分析 監査 ・システム監査の基礎 ・システム監査の計画 ・システム監査の実施と報告																												
	□▼戦略の策定	企業システムへの脅威 ・脅威の動機と種類の把握と活用																												
	T戦略の策定 T戦略の策定	顧客リレーション ・顧客リレーションの確立、維持 最新IT市場動向 ・国内外のIT市場規模と動向の把握 ・アブリケーションに関わる技術動向の把握 ・ビジネス特許に関わる技術動向の把握																												
	丁戦略の策定	- 次世代のeビジネスとその発展の把握 障害対策手法 - 障害監視 - 問題判別 - 影響分析 - 影響分析																												
	IT戦略の策定	「影響力和」 情報システム基本計画の策定 ・現行業務からの機能と情報の洗い出し ・中長期計画の策定 ・業務開業 ・業務の選 ・業務改善 ・業務改善 ・業務改革対象の優先順位設定および現実性の検証																												
	IT戦略の策定	情報システム基本計画の策定 ・情報システムの管理方式と管理体制 ・情報システム際害リスクの分析と障害対策レベルの設定 情報システム基本計画の策定																												
	IT戦略の策定	- 情報システムの保守と運用方式 - 情報システムの保守と運用体制 - 情報システム開発のフレームワーク																											ļ	
	□□戦略の策定	情報システム構想の策定 ・情報戦略課題と情報システム化構想 製品知識(ブラットフォーム) ・ ブロセッサ ・ 記憶装置 ・ 1																												
	IT戦略の策定	・ロ刷装置 ・オペレーティングシステム ・データペースシステム ・トランザクションシステム -ミドルウェアの評価と選定						3/4																					c経済通	

3/4

コンサルタント		研修コース群	コンサルティング基礎	ト基礎プロジェクトマネジメン	ロジー・コンサルティングメソド	シップ コンサルタントのリーダ	ニケー ション	ントのネゴン	テムのモニ	ン動向 ダストリア	最新ビジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動			ロジ基本コンサルティングメソド									ソナレティングメ				
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名	コンサルティング基礎	ト基礎プロジェクトマネジメン	ロジロジャングメソド	シップ コンサルタントのリーダ	ニケー ション	ヨントのネ	法テムのモ	向トリア	最新ビジネス動向	最新技術動向	コミュニティ活動	BTメソドロジの基本	ソドロジの基本	用の	識アプリケー ション製品知	固有パッケー ジ製品知識	事業戦略	組織戦略	ビジネスデザイン	単略	⊥ ⊺運用	! 「マネジメント	! ⊤ネットワーク技術	⊥⊤セキュリティ技術	トにおける業務	トにおける組織改ッケー ジ適用プロ	ラクトにおける ITインフパッケー ジ適用プロジェ
	戦略の策定	専門知識の活用(IT戦略策定) ・インダストリ知識の活用 ・IT関連知識の活用 ・IT関連知識の活用 ・情報システムの応用例 ・- 情報システムの応用例 ・ Tompan																											
	□戦略の策定	・知的資産のデータペース化(付加価値、構造化、共有化)・知的資産の活用・知的資産の維持と管理・効果の把握と改善の実施・ビジネスモデル特許																											
	IT戦略の策定	分析ツールとモデルの理解と活用 ・事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル ・ブロダクトポートフォリオマネジメント(PPMモデル) ・経験カープ ・3 C分析 ・SWO T分析 ・7 Sモデル ・マイケル・ボーターの SForcesモデル ・パリューチェーン分析 ・その他																											
	□戦略の策定	問題管理 ・障害影響度評価分析 ・障害履歴管理 ・障害情況管理 ・原因診断 ・障害情況 ・原因診断 ・障害修復、回避策策定 ・回避保準計画立、現象定義、データ収集、測定の実施 ・問題管理ツールの活用と実践 ・マルチベンダまたはマルチブラットフォーム環境における問 即特定デミルの活用と実践																											
	業務改革計画の策定	ニーズ&ウォンツ分析 ・ビジネス要求の確認 ・現行業務の確認 ・現行組織体制の調査と分析 ・経営要求の確認 ・現行組織体制の調査と分析 ・現行インフラの調査と分析																											
	業務改革計画の策定	ビジネスモデルの検討と構築・・ビジネス環境分析・・ビジネス環境分析・・ビジネス環境(経営戦略、事業戦略)の把握・・ビジネスモデル立案のためのフレームワークの検討・・バリューチェーンの再構築・・ビジネスモデルの構築																											
	業務改革計画の策定	ビジネス環境分析 ・外部環境分析 ・外部環境分析 ・内部環境分析 ・業界分析 ・業界分析 ・競争上の位置(リーダー、チャレンジャー、フォロワー、ニッチャー)の分析 ・事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)の分析																											
	業務改革計画の策定 業務改革計画の策定	ビジネス動向の把握と分析 経営戦略、事業戦略の把握																										\exists	
	業務改革計画の策定	顧客リレーション ・顧客リレーションの確立、維持 専門知識の活用(業務改革)									_																	\dashv	
	業務改革計画の策定	・インダストリ知識の活用 ・業務改革関連知識の活用 ・経営戦略立案策定の手順と技法 ・組織改革(マトリックス組織、事業部制組織、プロジェクト制組織) ・経営戦略と企業の組織文化 ・ビジネスプロセス分析 ・学系スプロセス分析 ・業務の新全体像と投資対象の選定																											
	業務改革計画の策定	知的資産の管理と活用 ・知的資産のデータペース化(付加価値、構造化、共有化) ・知的資産の活用 ・知的資産の活用 ・知的資産の維持と管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデルの特許																											
	業務改革計画の策定	分析ツールとモデルの理解と活用 ・事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル ・プロダクトポートフォリオマネジメント(PPMモデル) ・経験カープ ・3 に分析 ・SWO 1分析 ・7 Sモデル ・マイケル・ボーターの 5 Forces モデル ・パリューチェーン分析 ・その他																											
	コンサルティングメソドロジの 活用(BT)	BTコンサルティングメソドロジの選択と活用 ・コンサルティングメソドロジの比較と分析、コンサルティング メソドロジの選定と適用 ・ブロセスの定義と実践 ・成果物の定義と作成 ・コンサルティング技術の適用 「Tコンサルティングメドロジの選択と活用																											
	コンサルティングメソドロジの 活用(IT)	・コンサルティングメソドロジの比較と分析、コンサルティング																											
	パッケージの適合性評価と適用	・経営要求の確認 ・ビジネス要求の確認 ・児ジネス要求の確認 ・現行業務の調査と分析 ・現行組織体制の調査と分析 ・現行インフラの調査と分析 「パッケージの適合性評価(Fit & Gap 分析)とパッケージ適用																										$\frac{1}{1}$	
	パッケージの適合性評価と適用	- 適用する情報技術の調査 - 適用する情報技術の検討 - 適用する情報技術の検討 - ビジネス要求に適したビジネス支援パッケージ候補の洗出し - 最適なパッケージの選定 「パッケージ専入メソドロジの理解と実践																											
	パッケージの適合性評価と適 用	・導入検討の留意点とテストの必要性の検討																											
	パッケージの適合性評価と適 用	- 外部環境分析 - 内部環境分析 - 業界分析 - 競争上の位置(リーダー、チャレンジャー、フォロワー、ニッ チャー)の分析 - 事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)の																											
	 パッケージの適合性評価と適 用	分析																										\dashv	
	パッケージの適合性評価と適用	最新業務パッケージ動向 ・最新業務パッケージ技術動向の把握																											
	パッケージの適合性評価と適用 用 パッケージの適合性評価と適	・取利来教パソクケージ選定 ・最適業務パッケージ選定 専門知識の活用(パッケージ) ・インダストリ知識の活用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																										+	
	用	等) ・パッケージ適用事例知識 ・組織改革におけるパッケージ適用事例知識 ・インフラ支援パッケージ適用事例知識 知的資産の管理と活用																											
	パッケージの適合性評価と適 用	・知的資産のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)																											

4/4